

告 示

埼玉県監査委員告示第二号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第九十九条第二項の規定に基づき
監査を執行したので、同条第九項及び第十項の規定に基づく監査の結果に関する報
告を次のとおり公表する。

令和三年三月五日

埼玉県監査委員	山本光紀
埼玉県監査委員	小山彰
埼玉県監査委員	神尾高善
埼玉県監査委員	白土幸仁

令和2年度特定事務監査（テーマ監査）結果の報告について

監査委員は、地方自治法（以下「法」という。）第199条第2項及び埼玉県監査基準（以下「基準」という。）に基づき次のとおり監査を実施した。

監査の結果について、法第199条第9項及び第10項並びに基準第15条第1項及び第2項に基づき報告する。

1 監査等の種類

特定事務監査（基準第3条第1項第2号）

2 監査の対象

（1）対象事務

「地域社会を支える人材育成について」をテーマとし、令和元年度、令和2年度の事務の執行等を対象事務とする。

（2）対象機関

本庁4機関及び地域機関3機関（別紙「監査の対象機関」のとおり）

（3）実施期間

令和2年12月22日～令和3年1月29日

3 監査の着眼点

監査対象機関の事務の執行等についての監査は、「地域社会を支える人材育成」に係る以下の項目について、費用対効果に配慮したものとなっているか、所期の成果を上げているかなど、経済性、効率性、有効性の観点の主眼とする。

- ① 各人材育成・確保策の現状
- ② 人材育成・確保を目的とする各施設の有用性、学生・利用者の満足度
- ③ 目標や計画から見た到達度、将来性
- ④ 社会経済、県民ニーズから見た有効性

4 監査の実施内容

基準第9条ないし第13条の規定を踏まえ、監査を実施した。

5 監査結果

今回報告分の事務の執行は、監査を実施した範囲において、おおむね適正であることを確認した。

なお、監査結果の報告に添える意見は次のとおりである。

監査結果の報告に添える意見 24件 (7機関)

番号	部局	機関	意見内容
1	保健医療部	医療人材課	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のさなかにあつて、医師、看護師を始めとする医療人材の重要性がこれまで以上に高まっている。 地域医療教育センターの運営に当たっては、具体的な医師確保目標を定め、適切な機器整備の上、利用者である医療従事者の意見やニーズを十分に生かしながら運営していただきたい。
2	保健医療部	医療人材課	令和5年度までの目標を掲げる医師確保計画の遂行に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策の教訓を踏まえつつ、県が投じる多額の予算に見合った効果が得られるよう、確実に進捗させることにより、県民が期待する医療人材不足の解消に努めていただきたい。
3	産業労働部	産業人材育成課	高等技術専門校等の魅力を高める方法の一つとして、時代に合った企業ニーズの把握が非常に重要であることから、各訓練科の定員の見直しも含め、様々な訓練科の将来的な在り方を考える的確な材料としていただきたい。
4	産業労働部	産業人材育成課	企業ニーズを有効に把握するに際し、今後とも十分に企業訪問や調査を行い、高等技術専門校の魅力を高めていくことで、県内中小企業を中心とするモノづくり人材、産業人材の育成に、引き続き貢献していただきたい。
5	産業労働部	春日部高等技術専門校	金属加工科の訓練生募集に当たっては、金属加工科の特徴や長所について多くの若者に興味を持ってもらえるような説明を今後も続けていただきたい。
6	産業労働部	春日部高等技術専門校	企業訪問等を通じて企業ニーズの把握に努め、就職先の確保、訓練の充実につなげるよう努めていただきたい。
7	産業労働部	春日部高等技術専門校	就職指導については、訓練生一人一人に十分に向き合つて地域社会に貢献できる人材の育成に努めていただきたい。
8	産業労働部	春日部高等技術専門校	新型コロナウイルスの影響下にあつても、訓練生に必要な技能及び資格が取得できるよう、十分な訓練時間の確保に配慮していただきたい。
9	農林部	農業支援課	農業大学校では、キャリア教育や先端的技術を活用し、農業経営の支援を踏まえたカリキュラムを充実させるなど、今後のニーズにマッチした魅力を高めていくことで、より多くの応募者確保と就農率の向上に取り組んでいただきたい。
10	農林部	農業支援課	新規就農を志す者にとって、できる限り希望にかなう就農実現や相談ができるよう、さらに就農者が定着できるよう明日の農業担い手育成

			塾の設置市町村の拡充や、市町村などの関係機関と連携し、相談者に寄り添った就農相談の対応など、引き続き努めていただきたい。
11	農林部	農業大学校	<p>農業大学校に対する県民の認識が広がるように取り組んでいただきたい。</p> <p>そのためには、募集活動を行う中で実践力を習得する体験学習あるいはキャリア教育をはじめとする様々なプログラム等、農業大学校の特徴や魅力を効果的に知ってもらうPRが必要である。</p> <p>多くの高校生や幅広い年代の就農希望者に興味を持ってもらえるような工夫と機会をより多く作っていただきたい。</p>
12	農林部	農業大学校	<p>農業人材の育成において、農作業の経験も大切だが、農業従事者として定着させるためには、利益を生むための経営学や原価意識を身につけさせることが重要である。</p> <p>そのためには、例えば「健康志向野菜」のような特色があり、売れそうな作物の栽培技術の教育の実施や、成功している卒業生を活用した先進農家体験学習などを積極的に展開していただきたい。</p>
13	農林部	農業大学校	<p>就農支援については、生徒一人一人と十分に向き合い、丁寧なアドバイスや支援を通じて、地域社会に貢献する人材育成に努めていただきたい。</p>
14	農林部	農業大学校	<p>次世代の人材に農業を魅力ある産業と感ずってもらうため、社会ニーズの把握や新技術の導入等を的確に行えるよう県内教育機関、農業者、地域との連携・交流に努めていただきたい。</p>
15	農林部	農業大学校	<p>将来像として、農業経営に必要な知識と技術を兼ね備えた実践力のある人材育成を継続することにより、農業経営者の養成機関として中心的な役割を果たしていただきたい。</p>
16	農林部	農業大学校	<p>今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りながら、一人でも多くの卒業生を本県農業の担い手として育成に努めていただきたい。</p>
17	教育局	高校教育指導課	<p>普通高校に進学しがちなモノづくりに関心のある優秀な生徒を確保するために、中学校への出前授業や進路指導担当教員の専門高校への理解を深める取組などリクルート活動を精力的に行っていただきたい。</p>
18	教育局	高校教育指導課	<p>基礎学力不足への対策については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、学校現場では困難を強いられているかもしれないが、オンラインによるリモート学習などICTを適切に活用し、基礎学力の底上げを図られるよう努め</p>

			ていただきたい。
19	教育局	高校教育指導課	進路指導については、企業や社会、時代が求める人物像、自身の適性や将来の目標を深く理解するよう、ためになるキャリア教育をさらに充実させて、職業人材の育成を図っていただきたい。
20	教育局	高校教育指導課	今年度から、企業や研究機関と連携した「未来の職業人材育成事業」を開始したところであるが、社会や生徒のニーズを反映し、アップデートされた魅力あるカリキュラムを提供するために、大学や研究機関、民間企業などとの相互交流を一層強化していただきたい。
21	教育局	熊谷工業高等学校	生徒募集については、中学校に募集活動を行う中で、学科の特色などを強調して、多くの中学生に興味を持ってもらうような工夫をしていただきたい。 また、普通科への進学をアドバイスしがちな中学校の教員に、熊谷工業高校の魅力を伝えることに力を入れていただきたい。
22	教育局	熊谷工業高等学校	社会を構築していく中で、職人というのは大事な存在である。そのようなことを念頭に置いて人材育成に取り組んでいただきたい。 進路指導については、生徒一人一人と十分に向き合い、インターンシップを含むキャリア教育を実施していく中で、自分の将来や職業に対する理解を十分に深め、地域社会に貢献する人材育成に努めていただきたい。
23	教育局	熊谷工業高等学校	「脱炭素化」、「IOT化」など工業のあるべき姿やニーズが変化する中で、熊谷工業高校のポテンシャルを高め、社会で活躍できる総合力の高い生徒を輩出するため、建築・土木・電気・機械・情報技術の5学科について、学科の枠を超えたワンチームの取組を検討していただきたい。
24	教育局	熊谷工業高等学校	今後も新型コロナウイルス感染症対策にできる限り最善を尽くしつつ、生徒にとって進学、就職のために、確かな学力、規律ある態度を身につけられるよう、取り組んでいただきたい。 また、将来像については、専門知識に優れ、即戦力となるスペシャリストをさらに多く育成することにより、地域の信頼と期待に応えられる魅力ある工業高校として、多くの役割を果たしていくよう努めていただきたい。

別紙

所管部局	監 査 対 象 機 関
保健医療部	医療人材課
産業労働部	産業人材育成課、春日部高等技術専門校
農林部	農業支援課、農業大学校
教育局	高校教育指導課、熊谷工業高等学校